

7
月
号

いっしん

令和5年(2023年)

第461号

発行：金光教加治木教会 〒899-5213 鹿児島県始良市

加治木町朝日町130発行責任者：矢野文枝 TEL/FAX 0995-62-2895

Mアドレス hittobe.konkaji@gmail.com (HP)http://kajikikon.konjiki.jp/《HPの「いっしん」はカラーで見れます》

日は一日
すさび来にける
人ごころ
誰ぞか救はむ
今の世のさま

甘木親教会
初代教会長
安武松太郎師神款

教祖様140年／四神様130年／三代金光様60年／小倉教会布教138年／甘木親教会布教119年／加治木教会布教72年



教祖百四十年記念

中部・南薩 合同地区集会

開かれる

今年、教祖様百四十年のお年柄で、御本部で秋に仕えられる御大祭も「教祖百四十年記念」として仕えられます。

そのため、鹿児島地方教会連合会では奉迎の取り組みとして、六月から七月にかけて「教祖百四十年記念 地区集会」が、県内の三か所で開かれ、加治木教会は、六月二十五日(日)上荒田教会で開かれた「中部・南薩 合同地区集会」に参加させていただきました。

この地区集会では、今年度から連合会信徒部の会長となられた内門三朗(鹿児島県)さんが『私の助かり』と題して三か所の会場でお話をされ質疑応答などがありました。

小学生の時に母親を亡くし、中学生の時に父親を亡くされる中に、金光教の教会や信者さん方と「神様が見えない糸でご縁を結ばれ、神様に近づいて行けるよう道をつけて下されたかったかのようにあった」と信心の歩みを整理してまとめられたお話は「神人物語を編む」という言葉にふさわしい内容でありました。

私たちにもそれぞれかけられている、神様の願い・ご慈悲・ご慈愛・親愛をわからせていただく稽古のお年柄にして行きたいものであります。(講話、後日掲載予定)

教祖140年記念 中部・南薩 合同地区集会 … P1
加治木教会 天地金乃神御大祭 講話 … P2～6

お知らせ … P6～7
教会行事 … P 8

「お育てを頂いて」

吉田幸一先生講話 ①

(熊本県・隈庄教会長)

令和五年五月七日 加治木教会
天地金乃神御大祭講話



隈庄教会長 吉田幸一先生

私は、福岡県の二日市教会でお育てをいただきまして、ご縁を頂き三

十六才の時に結婚をさせていただき、隈庄教会に後継者として入らせていただきました。

こちらの矢野先生も同じように養子縁組をされて、福岡県の甘木教会でお育てをいただかれて加治木教会に後継者として入られました。

ただ、矢野先生と大きく違つのは、私は一信奉者としてお育てをいただきました。

それも教会の青少年少女会でお育ていただきました。お道の教師にお取立ていただきました。

今日は、青少年育成を土台にした私の生きざまと言いましようか、そのようなことをお話いただければと矢野先生からお願ひされました。今日は私の通らせていただいて来たところをお話させていただきたいと思ひます。

また、今年は教祖様が神上がられて百四十年のお年柄を頂いておりません。

こちらの矢野先生おかれましては、教祖百年祭のお年に教師輔命を頂かれて、今年は満四十年の褒賞をこの六月に頂かれます。

私は、結婚させていただき隈庄教会に来て、五月二十九日で満三十年にならせていただきます。

私は今年の四月六日で六十五歳にならせていただきました。

自分ではまだ若いつもりでしたが、剪定をするときに梯子を登り、登る時は良かったのですが降りる時に怖さを感じるようなことでした。

膝がブルブル震えてへこれは、今までの調子で剪定をしていると、落ちてみんなに迷惑をかけるかも知れないと思うようなことでした。

そしてへ今までの人生は、当たり前前のことではない、おかげを受けて歩ませていただけてきていたと思ひわせていただいたようなことでした。そこで今日は私なりに、歩ませていただけて来た物語を少しまとめさせていただきます、お話させていただきますと思ひます。

二、◆二日市教会とのご縁◆

私は昭和三十三年に生まれさせていただきます。

家は、二日市教会のすぐ近くで、一キロないくらいの歩いて行ける距

離でしたので、祖母が小さい時から月例祭や御大祭に連れて参ってくださるようなことでした。

教会は西鉄二日市駅のすぐそばで、賑やかでもあり、環境も良い場所でありました。

そういう教会に一人でお参りできるようになったのは、教会に元小学校の先生をしておられた方で、その方はお道の教師となられ、在籍教師として御用しておられました。

そのため、子供たちが日曜日などに教会に行きますと、私の先輩方で鼓笛隊を作って、太鼓やいろんな楽器で演奏の練習をしたり、小学校の先生でしたから習字の練習ということもありました。

時には電車で駅を二つ三つ行ったところの公園に、お弁当を持ってピクニックに行くような行事や集会があったておりました。

その頃は、親も共稼ぎで子供のことを相手にできるような家庭状況ではありませんでしたので、子供の面倒を見てくれる教会というようなことでした。

また、教会に行けば同い年や少し

年上の先輩方がおられたので、一緒に遊ぶ活動するということでした。

三、◆少年少女会へ◆

そのような中で、青少年育成に一番大切と言われているのは野外活動です。

このお道では、天地の働き天地の命ということ、天地が生きておられるから私たちが生きられるということを聴かせてもらい、学ばせてもらいました。

今日は、天地金乃神様の御大祭ですが、私も六十五年間、教会のみ教えがある環境の中に育ちましたので、天地の働きがあって私があるということをお聴かせしていただきました。

そういう中に、教会の境内地でテントを張って、三班四班あったと思いますが、一泊のキャンプをするということがあり、そのことがものすごく新鮮でしたし、なかなかできない体験でした。

私が小学校四年生で十歳の時でしたが、そこから少年少女会活動に参加できる



ということになり、「祈誓」「信条」「綱領」を覚えめました。

そうしてリーダーの前で「祈誓」「信条」「綱領」をしての入隊式があって少年少女会の制服やループタイ一式をもらえました。

それがとても嬉しかったことを覚えています。へこれで少年少女会員になれた！〜と思いました。

四、◆少年少女会で感じたもの◆

教会には、たくさん子供さんが来られてありましたが、少年少女会活動まで参加される子供はそう多くありませんでしたが、私は少年少女会活動に入らせていただいて、キャンプやいろんな活動をさせていただきました。

キャンプでは、中学生くらいの方が班長をされて、私はそういう先輩を見てへ顔も優しく教え方も優しい、こういう人間になりたいな〜と思うようなことでした。



へみんなから慕われ尊敬されるような人になりたい」と小学校四年生の時に感じ、教えていただきました。今の年齢になって、自分の一生を振り返って、そういう場であったなと思えるのです。

へあの方と出会ったから、教会に行かせてもらう中身も、有り難いことになってきたな」と思います。

ただ教会に行くだけでなく、目標がある、手本がそこにある、大人でなくちよっと年上で、何年か先に自分が通る道をその方が示してくれるというよいことでした。

二日市教会には娘さん二人と一番下に長男さんがおられて、その長男さんが当時若先生で、今の二日市教

会長の千種敏行先生です。

前にお話ししました、元小学校の先生をしておられた方が、少年少女全国大会の時には、車の運転をされるので、子供さん五・六名と青年の方たちで、車二台で一一緒に参拝させていたっていました。

それが家族的な雰囲気で、高速道路がない時代に、夜中に三号線二号线を通って少年少女全国大会に参拝させていただき、私が中学生になっても参拝させていただきました。

今の教会長先生の子供さん方は、私より年下でしたが「私のお兄さんみただった」とさえ言うってくれまして、家庭的雰囲気でした。

少年少女会に行くと、家族に会うような兄弟に会うような気がしていました。

少年少女会は、そんなに多人数ではなく、いつも同じメンバーで少人数でしたが、そのような例会が続きました。



五、◆キャンプへのいざない◆
 そのような時に、甘木教会のキャンプ場が甘水(あもず)というところに作られましたので、甘木教会手続教会の少年少女のキャンプが開かれるようになりました。

私がお育てをいただく年代に、興味があつたためになる、遊びを入れながらの行事に誘ってくださるようになりました。

その誘いも、祖母に「今度こういう行事がありませんが幸一君に聞いてもらえませんか」と言われ、「来なさい」という強制ではなく、私の意見を尊重して誘ってくださいました。

すると、不思議と学校などの行事と重ならず、先生方も、当時の子供たちの学校の行事と重ならないように努めて下さってあったのだと思います。

そういう中で兄弟同様の友達がいきました。私は小学校六年生、そして中学一年生と中学二年生の三人いま

したが、学院を出られた今の教会長先生（当時の若先生・敏行先生）がその三人を誘って、一泊のキャンプに連れて行ってもらいました。

教会でテントを買ってもらいまして、教会の車に乗って四人で出かけました。

サワガニのいる小川のあるところでのキャンプで、新鮮味がありました。技能を身に付けるといってもではありません。

昼食後に集まって、二日市から近い太宰府天満宮の近くの山のふもとで、分譲住宅が失敗したような段々に整地はされていましたが、草ボウボウの空き地があり、当時の若先生が前もって調べておられ、そこで昼の二時くらいから設営しました。

そうして散策、今でいう里山に連れて行ってもらいました。

途中で「ガメノハ」（正式名称はサルトリイバラ、鹿児島ではカカランハ）というお饅頭を包む葉っぱを見つけると、昔はお祖母ちゃんたちがダンゴや饅頭をこの葉っぱで包んで作ってくれていましたが、その葉っぱに殺菌作用があるとか、湿気を保

つ働きがあることを教えてもらい、野イチゴを見つけて採り、また小川ではサワガニを獲りました。

サワガニ獲りも、獲ればバケツに入れて生き物採集というつもりで取りました。

六、◆命を食す◆

その後、夕食の準備の時間になりますと、若先生（当時・敏行先生）がてんぷら油を準備しておられました。

食べることのできる山菜を若先生から教えてもらい、採ってきた山菜に衣を付けて天ぷらを揚げる準備をしていました。

すると若先生が「このサワガニも食べられるもんな」と言われてビックリしました。

バケツの中でガサガサガサガサ音がして生きているのですが、それを天ぷらにして食べようということなのです。



生きているわけですから、ビックリしました。

それを天ぷらに揚げたら、シユールと音がして赤みをおびたサワガニがもっと真っ赤になるのです。

私たちは食べ物と思って採集したわけではありません。

しかし、計画の中にプログラムとして入れてあったのだと思います。

ご飯も、山菜も、サワガニも、そのような命あるもので、私たちの命が支えられているという仕組みを言葉で教えるのではなく、

目の前で生きている命が食べ物になっていくということを学ぶのです。

大人の眼で見ればピールのつまみか何かで美味しく見えるかも知れませんが、子供ですらそうは思えませんが、食べてみると美味しいのです。

つい先ほど自分の手で捕まえたのですから、あの時捕まえなければよかった、という後ろめたさもあったように思います。

それを頂かせてもらうということなのです。

その四人で行ったキャンプが忘れられません。特に、その日の薄暗い明かりの中で食べたサワガニのことが忘れられないのです。

〈ホントに、命を頂いたな、命あって私たちは生きられるのだな〉と、年齢を重ねれば重ねるほど〈有り難い経験をしたな〉と思えるのです。

キャンプをして、そのような経験をするために、若先生は事前に散策をして、ここにサワガニがいて、ここに山菜があって食料になると、事前に下見をしてから計画を立て、連れて行って下さったと思います。

(くひひ)



平成17年(2005年)8月 年代別キャンプ
左端 有蘭彰子さん (ご霊地にて)

少年少女会のみなさんへ シジュウガラのヒナが

巣箱で育てていました



きよねん じゅうがつにじゅうさんにち(にち)にち
去年の十月二十三日(日)に、
せんじゅう おんせん やがいちよつり
仙寿の里温泉で「野外調理と鳥の
すばいん かん
巣箱作り」というテーマで、少年
しょうじゅうか
少女会を開きましたが、そのとき
つく ずはこ おんせん もり
作った巣箱を温泉の森の木に、五個
とりつけていました。四個は
す けいひん かせ
巣をつくり、途中で風なびておぼ
れたり、ほかのおおきな鳥(うし)に

こがつ
やまされたりしたようですが、五月
にじゅうはつにじゅうさんにち(にち)にち
二十八日、一個の巣箱だけ、ヒナが
そだ
育っていました。シジュウガラとい
う鳥(うし)でした。

せんじゅう おんせん もり げんき そだ
仙寿の里温泉の森で元気に育ち、
おしず
訪れる人たちに、かわいらしいさえ
ずりを聞かせてくれるように成長
せいちやう
して行(い)くように。おしず。



(5月28日)

七月九日(日)午前十一時より
加治木教会

祈願祭 奉仕

祭典後、少年少女会連合本部派遣講師による「育成懇談会」(講話)

講師 下関北教会

宮野 寿 先生

七月十七日(月祝) 午前十一時より

甘木親教会

祈願祭 参拝

7月23日(日) 10時半より
少年少女会



教祖様140年 少年少女全国大会 参拝

8/5(土)~7(月)
8:00AM 8:00PM

旅費 小学生~15000円 中学生~19000円 大人~22000円 幼児~7000円

※宿泊 交通費 6日朝・昼食、7日朝食のみ 費用込み、ほか自弁

特用品:電燈え、帽子、洗面具、パジャマなど各名分の、着下シャツ(行連用)、水筒

交通機関:マイクバス(レンタカー)にて

教会行事

7月

- 1 (土) ●報徳月例祭 10時半
 - 8 (土) 前日準備御用
 - 9 (日) 加治木教会祈願祭 11時
 - 10 (月) ●月例祭 (生神金光 併せて10時半)
 - 17 (月祝) ●甘木親教会 祈願祭
 - 21 (金) 清掃御用 10時
 - 22 (土) ●月例祭・共励会 13時半
 - 23 (日) 少年少女会「七タ」10時半
 - 25 (火) 26 (水) 教誨師研修会 教会堂
 - 29 (土) 連合会 企画会議 8時半 上荒田教会 青少年 農場にて
 - 30 (日) 多良木教会 祈願祭・式年祭
 - 31 (月) 清掃御用 10時
- ※《未定行事》青年会・若婦人会

全光教鹿児島地方教会連合会 青少年育成協議会

夏のつどい
土をいじって、土のにおいをかいで
みませんか?! 親子ピクニック

8/27(日) 10:30~15:00

集合場所...上荒田教会農場 (鹿児島市 小山村)

持ってくるもの...お弁当・水筒・筆記具・虫よけスプレー
軍手・長ぐつ・園芸用スコップ(小)

対象...子供も 大人も みんなでどうぞ!

内容...土をいじって、桜島だいこんのたねまき体験。

※夏休みの自由研究「桜島大根の育て方大研究」! ←(記入表準備)
※木工工作で、トンボやアケボノなどのアケボノを作ります!
(記入表・工作は夏休みの課題として提出しましょう)

8月

- 1 (火) ●報徳月例祭 10時半
- 5 (土) 少年少女全国大会 第一日
- 6 (日) 少年少女全国大会 第二日
- 9 (水) 清掃御用 10時
- 10 (木) ●月例祭 (生神金光 併せて10時半)
- 18 (金) 19 (土) 甘木親教会 祈願祭
- 21 (月) 清掃御用 10時
- 22 (火) ●月例祭 (天地金 併せて13時半)
- 25 (金) 連女性教師会 (鹿兒島 教会)
- 27 (日) 連夏のつどい (上荒田教会 農場)
- 31 (木) 清掃御用 10時

小学生低学年用 チャレンジカード

とりくんだひとで、七月十九日まで、教会へもってきた人は、連合本部へ送ります。全国大会で掲示されます。

少年少女会 「チャレンジカード」ががんばっていますか?